

第1回国民的議論に関する検証会合

日時：平成24年8月22日（水）13：00～15：15
場所：中央合同庁舎4号館 共用第1特別会議室

2030年時点の原子力発電への依存度を1つの目安として、今後の日本のエネルギー政策の大方針を考える「国民的議論」。

パブリックコメント、意見聴取会、討論型世論調査、各種提言、そのほか様々な形で寄せられた9万件近いご意見をどのような手法で集約してエネルギー・環境会議に報告するか、世論調査の専門家の先生方などをお招きして検討する会合を開きました。

全3回中第1回の内容を、全て分割して論点ごとに動画をご覧ください。

▶動画を全てご覧になりたい方はこちら【2時間13分】

はじめに

※肩書きは、開催当時のもの



古川 元久 国家戦略担当大臣 あいさつ
【8分40秒】

出席委員 あいさつ
【4分42秒】

1.国民的議論に関する経緯と検証会合の開催について

事務局からの説明

[開催の経緯について](#)
【3分34秒】

<資料1>

※各説明を視聴する際は、併せて関連資料もご覧下さい。

～出席委員からのご意見・ご質問～

[Q. この会合の議論と、先日の古川大臣の“原発ゼロへ”発言の関係について](#)
【2分47秒】

2.国民的議論について検討すべき課題と戦略への反映プロセスについて

事務局からの説明

[検討課題と反映プロセス](#)
【5分39秒】

<資料2>

～出席委員からのご意見・ご質問～

[Q. 委員はどこまで関与するのか。得たデータから結論を導き出すところまで踏み込むのか。](#)
【2分15秒】

3.《課題1》検証の対象とすべき調査結果や情報について

事務局からの説明

～5つの検証対象～

<資料3>

[①意見聴取会、パブリックコメント](#)
【7分07秒】

[②討論型世論調査、政府協力の説明会、マスコミ等の世論調査](#)
【5分14秒】

～出席委員からのご意見・ご質問～

- [討論型世論調査の“類似ケース”も、考慮の対象に](#)
【1分50秒】
- [対象となる調査結果の男女比について](#)【3分36秒】
- [不明確な意見や結果の触れ幅が大きい点に注目](#)
【4分10秒】
- [各調査の特性と意見の偏り](#)【4分18秒】

- [世論《せろん》と輿論《よろん》の違い](#)【4分14秒】
- [調査結果の数値だけでなく、その背景にも注目を](#)
【4分37秒】
- [“3つのシナリオ”提示の印象と調査対象者の範囲](#)
【3分34秒】

4.調査結果や情報の整理の仕方について

事務局からの説明

<資料4>

[集計・議論の仕方](#)
【4分51秒】

[支持率・論点集計](#)
【3分42秒】

～各調査結果の中間報告～

[①意見聴取会、福島県民の意見を聞く会](#)
【2分07秒】

[<資料5-1-1>](#)
[<資料5-1-2>](#)

[②パブリックコメント、各団体などからの提言](#)
【6分55秒】

[<資料5-2-1>](#)
[<資料5-2-2>](#)

[③討論型世論調査、政府協力の説明会、マスコミ等の世論調査](#)
【5分36秒】

[<資料5-3-1>](#)
[<資料5-3-2>](#)
[<資料5-4>](#)
[<資料5-5>](#)

※討論型世論調査の結果については、委員から別途報告があるため、説明省略。

曽根委員からの報告

～討論型世論調査の結果～

<資料5-3-2>

[①今回の調査データの特徴](#)
【6分21秒】

[②参加者の意見・態度の変化](#)
【6分02秒】

[③調査結果の分析・気付き](#)
【3分11秒】

小林委員からの報告

～調査結果の検証～

[検証委員会の報告書 概要](#)
【5分41秒】

～出席委員からのご意見・ご質問～

- [意見分類の仕方を国民が検証出来る仕組み作りを](#)
【2分54秒】
- [マスコミ世論調査の結果の反映について](#)
【1分29秒】
- [パブリックコメントで広く、若年層の意見収集を](#)
【1分21秒】
- [討論型世論調査の参加者の意見変化について、電話調査～討論前の変容をどう解釈するのか](#)
【6分54秒】

[<参考資料5> 4ページ](#)

- [マスコミ世論調査の結果の比較方法・まとめ方](#)
【1分53秒】

終わりに

※肩書きは、開催当時のもの



[今回の配布資料への補足](#)
【2分56秒】

古川 元久 国家戦略担当大臣 あいさつ
【6分47秒】

[次回会合について](#)
[パブリックコメントの公開作業](#)
【1分26秒】